

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業者の概要

事業者の名称	佐川急便株式会社		
市内代表事業所の名称	仙台営業所		
市内代表事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区扇町7-5-33		
主たる事業	道路貨物運送業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>佐川急便株式会社【環境方針】</p> <p>1. 排出ガスによる地球温暖化、大気汚染を防止するため、輸送の効率化、低公害車の導入、エコドライブの実践を推進し、環境保全のための継続的な改善を図ります。</p> <p>2. 省資源・省エネルギー・3Rを推進し、循環型社会構築のために、その取り組みに対する改善、企画、提案をします。</p> <p>3. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を順守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。</p> <p>4. 環境教育、啓発活動を通じて全従業員に本方針を周知し、環境活動を推進します。さらに広く一般に本方針並びに当社の環境活動に関する情報を提供します。</p> <p>5. 環境目的、環境目標を定め、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	4,008 t-CO ₂	基準原単位	0.5173
	目標年度	2022年度	目標排出量	3,888 t-CO ₂	目標原単位	0.50175
			削減率	3.00 %	削減率	3.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	4,270 t-CO ₂	排出原単位	0.5215
			削減率	-6.54 %	削減率	-0.82 %
	排出量等の増減理由	2020年度は宅配貨物が増加したため走行距離が伸び、燃料使用量の増加に伴い温室効果ガスの排出量が増加し、基準年度を上回った。				
	第2年度	2021年度	排出量	4,395 t-CO ₂	排出原単位	0.5394
			削減率	-9.66 %	削減率	-4.28 %
	排出量等の増減理由	2021年度は、2020年度に引き続き宅配貨物が増加したため燃料使用量が増加し、温室効果ガスの排出量、及び原単位当たりの排出量とも前年よりも増加した。				
	第3年度	2022年度	排出量	4,176 t-CO ₂	排出原単位	0.5309
削減率			-4.20 %	削減率	-2.63 %	
排出量等の増減理由	2022年度は、排出量及び原単位当たりの排出量について前年度よりは削減できたが、基準年度と比較すると物量増加に伴い走行距離及び燃料使用量が増加しており、排出量が増加し目標達成には至らなかった。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	「環境方針」に則った取り組みを継続的に実施しています。
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	「環境方針」に則った取り組みを継続的に実施しています。
	第3年度	100 %	実施状況の説明等	「環境方針」に則った取り組みを継続的に実施しています。
選択対策の実施状況	項目			実施状況
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)			一部実施済
	エコドライブの管理			実施済
	燃費向上のための装置等の計画的導入			実施済
	維持管理に関する教育			実施済
	効率的な自動車運用のためのシステム導入			実施済
	空調設定温度の管理			実施済
	環境性能の良い車両の計画的導入			実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容		実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	交通状況に応じた定速走行の実施		実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	駐車時はキー抜き、エンジン停止の実施		実施済
	グリーン調達の実施	エコユニフォームの採用		実施済
	廃棄物削減対策の実施	車両のリサイクル		実施済